



Pomanox (ポマノックス)

東洋サイエンス株式会社

ポマノックス(ザクロ抽出エキス)

特許製法で新鮮なザクロのポリフェノールをそのままにポマノックスとは

スペインの地中海沿岸一帯で栽培している新鮮なザクロ(Punica granatum L.)を、環境に配慮しながら、厳しい品質管理のもと、特許製法で製造するザクロ抽出エキス粉末です。糖分のみをカットし、果実に含まれる栄養成分やあらゆるポリフェノールを損なうことなく抽出しています。プニカラジンは、ザクロに含まれる特徴的なポリフェノールで、ザクロの抗酸化力や健康効果の主要な役割を果たしています。

ポマノックスは、有機溶媒を一切使用していない水溶性の粉末で、熱耐性もあることから、あらゆる用途(サプリメント/飲料/美容製品等)にご利用いただけます。コーシャやハラール認証を取得するための基準も満たしており、重金属・残留農薬・アフラトキシンに関する欧州規格にも準拠しています。



製品規格

プニカラジン(A+B):無水 30%以上

プニカラジン/プニカリン:無水 30%以上

エラグ酸:無水 8%以下

外観 粉体

色 オレンジ～淡オレンジ

同定 クロマトグラム一致

一般生菌数 3,000 cfu/ g 以下

カビ・酵母・胆汁酸抵抗性
グラム陰性菌 100 cfu/ g 以下

大腸菌 陰性/ 1g

サルモネラ 陰性/ 25g

スペイン ムルシア地方

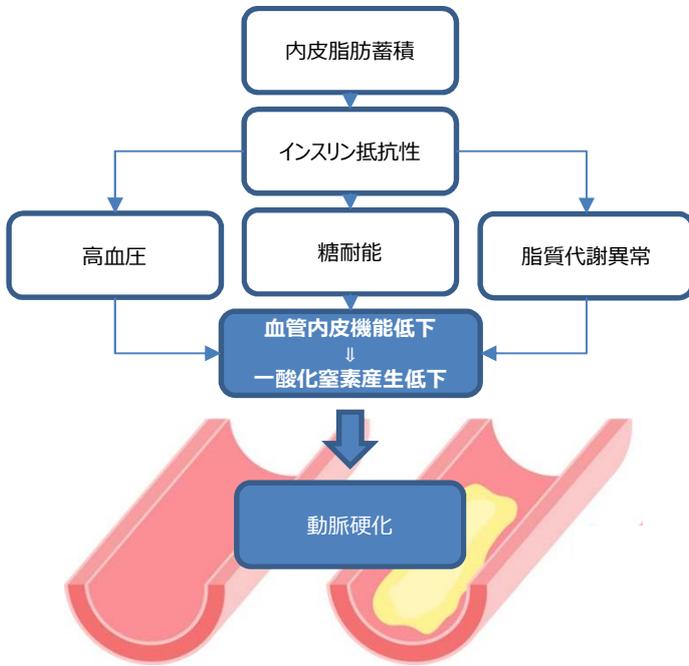
新鮮なザクロは、スペインの南東にあるムルシア地方で栽培しています。砂に塩分が混じる海のそばの砂漠の一帯地域で、レモン、オリーブ、洋ナシ、ザクロなどは、このような土壌でも育つことから、欧州の農産地区として大きく発展しています。政府はオーガニックを推奨しており、行政も厳しい査察をして国全体で管理している地域です。ザクロは11月に収穫されますが、長期保存ができないため、Euromed社は、エキス製造工場をムルシア州に設置し、すぐにエキス製造を行います。

ザクロの収穫後は、1.5メートルほどの高さに刈りそろえ、リンゴの木と同じように二芽ほど残し、広大な100ヘクタール以上の農場は、全て人の手で剪定されます。刈り取った枝は、有機肥料としてリサイクルします。



東洋サイエンス
Making Science, Growing Together

ポマノックスの効果



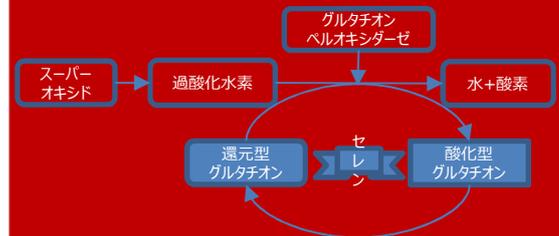
血漿中の一酸化窒素産生上昇 血管内皮機能回復

血管内皮細胞は血管作動性物質を出すことで、血管壁の収縮・弛緩・血液凝固/線溶などを行います。この機能は、高血圧・糖尿病・肥満・メタボリックシンドロームなどの生活習慣病で低下し、動脈硬化などを引き起こします。血管作動性物質の一つが、一酸化窒素であり、ポマノックスを摂取すると、血漿中の一酸化窒素が増加します。

なぜ抗酸化力が高い？

ポマノックスには高い抗酸化力があります。ブニカラジンをはじめとしたザクロに含まれるあらゆるポリフェノール(抗酸化物質)をそのまま抽出していることに加え、ポマノックスを摂取すると、血漿中のセレンや、グルタチオンペルオキシダーゼ量が上昇するためです。

体内で発生する活性酸素種の一つである過酸化水素は、グルタチオンペルオキシダーゼで水に分解されます。酸化したグルタチオンは、セレンを触媒として、高い抗酸化・解毒物質であるグルタチオンに還元されることで、体内の高い抗酸化力を維持しています。



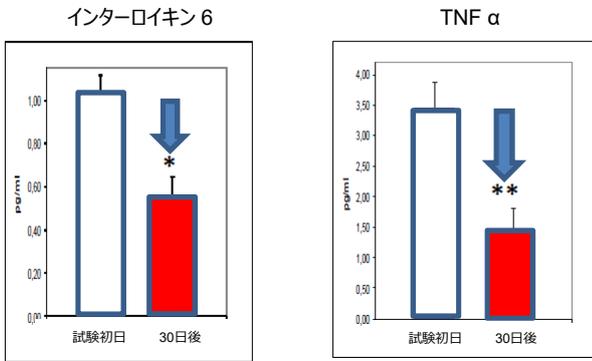
ザクロジュースの効果

ザクロの持つ効果は、あらゆる文献で発表されています。Catherine Tsangらは、ザクロジュースを肥満傾向の被験者が摂取すると、血圧やインスリン抵抗性に改善傾向があったと発表されています(J. Nutritional Science 2012)。さらに、同年、Queen Margaret大学(イギリス)の発表では、ザクロジュースを2週間摂取することで、ストレス指数の改善傾向が見られたと発表しています。

ポマノックスは、天然のザクロジュースのポリフェノールや栄養成分をそのままに、糖分を大幅にカット。1杯160Kcalのザクロジュースに対し、ポマノックスは、たった2Kcalです。

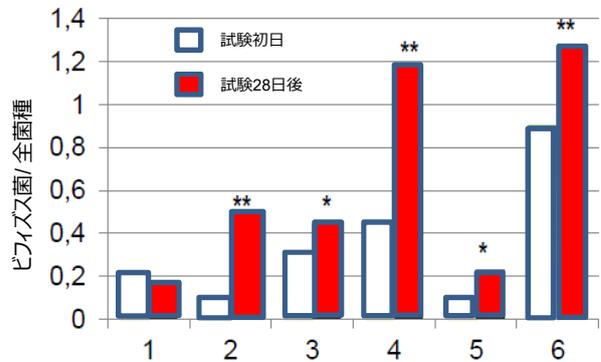


ポマノックスの有用性



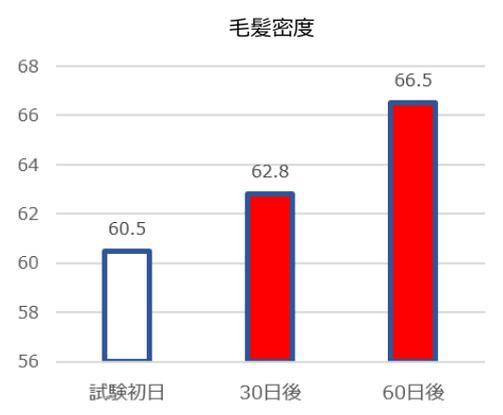
血漿中の炎症マーカーが有意に減少 抗炎症効果

20名の被験者がポマノックス(P30)を30日間(266mg/日(ブニカラジンとして80mg/日))摂取すると、血漿中の炎症性サイトカインであるIL1β、IL6、IL8、TNF-αが減少し、抗炎症性サイトカインであるIL10が上昇。抗炎症効果が示唆された。



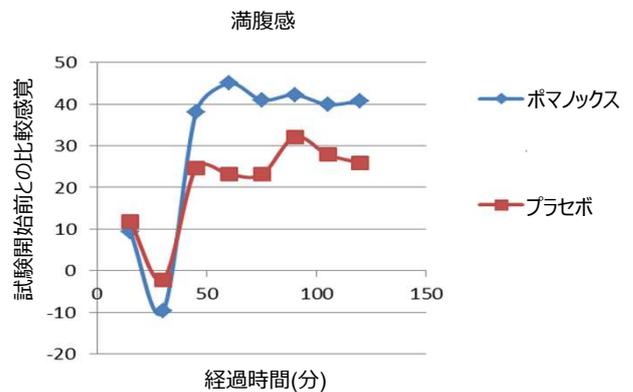
乳酸菌&ビフィズス菌量が上昇 プレバイオティクス効果

6名の被験者がポマノックス(P20)を28日間(575mg/日(ブニカラジンとして115mg/日))摂取。6名中4名の被験者の乳酸菌とビフィズス菌量は、有意に増加。6名中5名の被験者は、乳酸菌もしくは、ビフィズス菌のどちらかが有意に増加した。



血管の柔軟性が増し血流改善 毛髪密度増加効果

10名の被験者がポマノックス(P30)を60日間(760mg/日(ブニカラジンとして228mg/日))摂取。試験初日と比較すると、毛髪密度が30日後に3.8%、60日後には約10%有意に増加。30日後と60日後の毛密度にも有意差が観察されたことから、摂取を継続することで、毛髪密度が高くなることが示唆された。



抗酸化成分が満腹感をサポート ダイエット効果

肥満の食事療法において、食用の抗酸化成分が満腹感が得られやすいことが示唆されている(Josic et al. 2010)。15名の被験者がポマノックス摂取すると、プラセボ群と比較して、空腹感・食欲が減少し、満腹感・満足感が上昇した。少ない食事量でも満足感が得られることから、体重管理や肥満対策としての効果が示唆された。